

院外講師による症例検討会

日時：平成 29 年 8 月 31 日 17 時～

場所：新王子病院 4 階 会議室

講師：JCHO 九州病院腎臓内科 田村恭久先生

内容：心房細動発症後、急性増悪となった症例

今回の症例は発作性心房細動の加療目的にて JCHO 九州病院へ入院されるも脳梗塞、広範な腸管壊死を発症した患者様についてでした。腸管は血栓による閉塞と思われましたが、造影 CT など詳細な検査により非閉塞性腸間膜虚血 (NOMI) によるものであったとのことでした。透析患者様は心房細動による心原性塞栓に対し、ワーファリンの使用については禁忌の方向性があるが、明確なガイドラインは無いとの最新情報、医療現場での使用について教えてくださいました。また、患者様の宗教理念によって、治療での選択肢の幅が変わること、その場合の注意点など、具体的な内容を講義していただきました。

たくさんのスライドとともに詳しく説明して下さり、とてもわかりやすい内容でした。講義後の質疑応答もとても活発に行われていました。

